

37 クリイロカワザンショウ属の一種

兵庫県ランク:B

Angustassiminea sp.

(カワザンショウガイ科)

環境省ランク:指定なし

種の概要

殻長約5mm、殻径約4mmになり、殻は円錐形で小さいが堅固。殻色は黄白色でやや半透明。縫合下に一本の螺状刻がある。内唇滑層はよく発達し、殻口唇縁は薄い軸唇から殻口底部にかけては少し厚くなる。臍孔は閉じる。本種は海岸岩礁地の転石浜や海蝕棚下部等に生息しているが、同じエリアで確認されやすいヘソカドガイやオオウスイロヘソカドガイ(貝類Bランク)等と比べ、より湿度の高い環境を好むようで、転石下の常に水が滲みだしているような場所に生息している。またオオウスイロヘソカドガイのように湿気があっても岩礁表面で活動することはないようである。本種は未記載種の可能性がある。

主要な選定理由

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
			○	○	○		○

県内分布

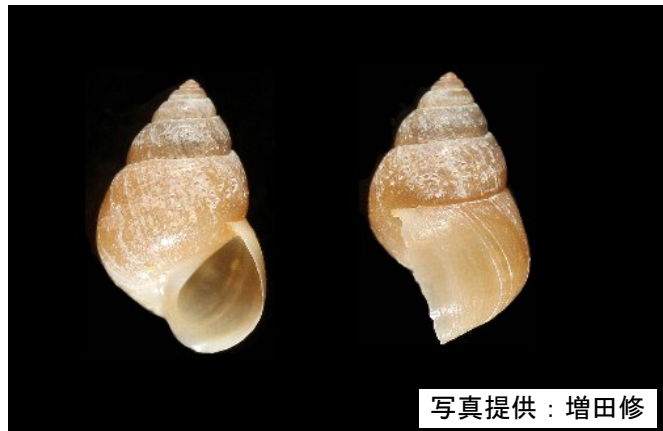
豊岡市、香美町、新温泉町

県内における生息状況及びその他特記事項

新規追加種。但馬沿岸から数箇所の転石海岸において生息地が確認されているが、そのいずれにおいても生息範囲が非常に狭く局所的で、かつ個体数も多くない。

保護上の留意点

調査が進めばさらに生息地が確認される可能性があるが、これまでの観察では本種の好む生息条件は限定的であり、また個体群の規模が小さい傾向があるため、既知の生息地の保全とともに沿岸域における開発・整備事業の際には、事前の調査が行われることが望ましい。



【執筆者】 宇野明